

10104パン、菓子製造業における死傷災害事例(最大99事例まで) (2020年)

No	年	月	発 生 時	死傷災害事例	年 齢	事 故 の 型	起因物 (小)	労働 者規 模
1	2020	1	9 ～ 10	煎餅製造工場で、煎餅を造る型等の機械部品を洗浄中、水と苛性ソーダを継ぎ足ししようとしたときに手順を間違えたため、化学反応によって内部が沸騰状態になり、苛性ソーダ水溶液が飛散した。その際、保護具を着用していなかったため、両目化学熱傷、右手・両膝・顔面に火傷を負った。	41	11	715	10～ 29
2	2020	1	8 ～ 9	機械に型を供給する作業中、型が詰まる不具合が発生したため、詰まった型を撤去するために機械の中に手を入れたところ、別の人が機械を動かしたため、右手中指と小指が機械に挟まれて裂傷を負った。	36	7	165	30～ 49
3	2020	1	17 ～ 18	焼成場で作業中、同僚の男性社員と口論になり、該当社員から退勤するように言われた。そのとき、被災者が担当係長に相談の上、成型場に移動したところ、該当社員が追い掛けていき、被災者の肩を掴み、退室させようと引っ張った。その際、被災者が転倒し、ホイロの扉に頭部を打ち付け、頭頂部に挫創を負った。	55	90	911	500 ～ 999
4	2020	1	14 ～ 15	工場内でリバースシート（生地を延ばす機械）の掃除中、ダスターで圧延ローラーを拭いていたところ、フットスイッチを踏んだ。その際、左手がダスターごとローラーに巻き込まれ、人差し指の爪が剥がれ、中指の骨が欠損した。	21	7	165	30～ 49
5	2020	1	13 ～ 14	工場内で、まんじゅうの生地を攪拌する機械使用中、機械の停止スイッチを押し、確認せず、生地を取り出そうと右手を入れた際、右手甲および右手小指を骨折、裂傷を負った。	34	7	165	1～9

6	2020	1	15 ～ 16	工場で、中2階へはしごを登る際、足場を踏み外し、約1mの高さから落下し、腰を強打して腰椎圧迫骨折を負った。	45	1	371	100 ～ 299
7	2020	1	8 ～ 9	駐車場から工場通用口に走って向かっている際、つまずいて転倒し左膝に挫滅創を負った。	55	2	417	50～ 99
8	2020	1	7 ～ 8	工場タルトラインのプレス成型機で生産中、製品ロス防止のため鉄板ライン上にあるプレス機部を左手で清掃していたところ、プレス機が再稼働し下部鉄板との間に挟まれ、左手環指開放骨折を負った。	57	7	165	50～ 99
9	2020	2	10 ～ 11	工場内のベルトコンベアー清掃中、床に果物の果汁がこぼれ落ちている状態で、雑巾を取りに行こうとして滑って、床に手をついて、右手首を骨折した。	49	2	417	10～ 29
10	2020	2	21 ～ 22	コンベアーを清掃中、ベルト内部とタイコ部に米が残っていたので取り除こうとコンベアーベルトを回した状態で手を入れたため、手が巻き込まれ、尺骨、橈骨を折った。	56	7	121	100 ～ 299
11	2020	2	21 ～ 22	就業前に、靴磨き場で靴を磨いた後、急いで靴を履こうとしたところ、洗剤がこぼれて濡れている鉄板の上で滑って転び、左足を骨折した。	19	2	416	300 ～ 499
12	2020	2	9 ～ 10	工場で焼菓子を製造中、包あん機の生地用タンクのローラーに左手を挟み、左親指を骨折した。	41	7	163	10～ 29
13	2020	2	9 ～ 10	ビーンズプラントのプレグラインドミル配管にカカオニブが詰まったので、作業台に上がって詰まりを確認した。作業台から移動式階段を使って下りる際、バランスを崩して階段から転落し、床に右手をついて手首を骨折した。	33	1	371	500 ～ 999
			14	検品室で、製品の入ったパン箱を両手で持ちオーバブリッジを				500



22	2020	3	11 ～ 12	包装場で、パレットを移動するためハンドリフトを操作していたとき、リフトの持ち手と階段の手摺りに左手小指を挟んで打撲傷を負った。	29	7	362	～ 499
23	2020	3	13 ～ 14	敷地内で、備品整理の作業中、すのこ（約90cm×45cm×5cm）に左足を踏み出した際、すのこが傾き、バランスを崩した。その際、ドアのアルミ枠の角に頭を打ち、創傷を負った。	63	3	419	1～9
24	2020	3	15 ～ 16	工房でプリンのカラメルを流し入れる作業中に、カラメルが右手に掛かり火傷した。	23	11	715	30～ 49
25	2020	3	11 ～ 12	二次加工で、カレーパンの生産後で床面が油分を多く含み、滑りやすい状態であった。滑り止めテープをしていたが、テープをしていない箇所で滑ってしまい、右手を骨折した。	63	2	417	50～ 99
26	2020	3	21 ～ 22	台車でパン箱を運ぶ際、床面の凸凹でバランスを崩し、箱を支えた際、パン箱の間に指を挟み左手薬指を骨折した。	55	7	611	300 ～ 499
27	2020	3	18 ～ 19	閉店後の片付け時、店舗内レジカウンター横に設置している、コーヒーマシンのオートクリーン機能を作動させ、完了を待っていたとき、左手を不用意にマシン内部に置いていたため、洗浄作業に伴い上下稼働する部分が上部へ動いた際、左手小指先端が挟まれ切り傷を負い、骨折した。	53	7	391	10～ 29
28	2020	3	9 ～ 10	焼きたてのパンをオープン出口で冷却用の鉄板にうつす作業中、鉄板の結露により濡れていたため両手親指に火傷を負った。	71	11	521	10～ 29
29	2020	4	15 ～ 16	フランスパンをスライサーに置き、手で押さえながら3cmの厚さで斜めに切っていた際、右手親指と人差し指を切った。	50	8	169	10～ 29
			16	工場の従業員出入口で、勤務を終えて帰宅する際、仮置きされた				50～

30	2020	4	～ 17	廃棄用のハンドリフトにつまずき、腰を強打して骨折した。	59	2	417	99
31	2020	4	～ 22	21 廃棄果肉運搬作業をしているときに、廃棄用台車の動きが悪く、 進行方向から左に逸れたため、軌道修正のため左足を踏み込んだ 22 際、左膝大腿骨に挫傷を負った。	48	19	362	300 ～ 499
32	2020	5	～ 12	11 工場内で、カップデザート（190g）を取り出す作業をしていたと ころ、両手首に腱鞘炎を起こした。 12	18	19	911	50～ 99
33	2020	5	～ 10	9 作業場で、ヘラで機械の縁に付いた生地を取っていた際、ミキ サーの羽に右手が挟まれ、慌てて抜いた際、右手背部に挫創、圧 10 挫傷を負った。	37	7	165	30～ 49
34	2020	5	～ 10	9 会社内の階段を2階から下りる途中、残りの数段で足がつり balan スを崩し、左足首をひねり靭帯損傷を負った。 10	33	1	413	10～ 29
35	2020	6	～ 14	13 工場内で、金たわしでごはんのノリをこすって取る作業中、金た わしが大きいのと思い、半分にしようと無理に引っ張った際、金た 14 わしの伸びた部分で左手の親指と人差し指の付け根を切った。	26	8	379	10～ 29
36	2020	6	～ 14	13 本社工場焼成部署で乾燥機内部を清掃中、機械外側継ぎ目にあっ た突起部分に接触して左手小指付け根部分に切創を負った。 14	58	8	165	300 ～ 499
37	2020	6	～ 21	20 半製品の袋詰め作業を、作業台に段ボールを10枚重ねた上で5分 間継続した。その後段ボールの中にビニールを入れて段ボールの 端に沿って押さえる際に、首の付け根から右肩にかけて痛みが発 21 生し、右肩を捻挫した。	39	19	529	500 ～ 999
38	2020	6	～ 15	14 ASマット（積層ゴミ取りマット）を清掃のため剥がしていたとこ ろ、剥がした粘着面を踏んで、バランスを崩して後ろへ転倒し 15 た。その際に、そばにあったあん用リフトに右手前腕をぶつけて	74	2	417	10～ 29

				裂創を負った。				
39	2020	6	21 ～ 22	専用台車に製品が入った番重（パン等を入れるケース）を積み、別の作業者と運搬していたところ、進行方向にあった番重を避けるために方向を変えようとした際、右足が台車の下に入り、右足甲に挫滅創を負った。	41	7	611	1000 ～ 9999
40	2020	6	15 ～ 16	段ボールから空折を出す作業をされていて、左足をひねった際、左足膝蓋骨脱臼骨折を負った。	52	19	379	300 ～ 499
41	2020	6	13 ～ 14	工場の包装室でパンの袋入れ作業中、エアコンと扇風機を稼働させていたが、作業場内の温度が上がっていた。途中で何度か休憩室で休んだが、体調が悪くなり熱中症になった。	26	11	715	10～ 29
42	2020	6	23 ～ 24	パン箱をステージ端に引いて運搬中、踏み外し、ステージから落下した。その際、地面に右足をつき、右膝関節に打撲を負った。	46	1	418	300 ～ 499
43	2020	6	12 ～ 13	休憩後、2階から1階へ階段を下りていた際、足を踏み外して5～6段落下し、左足首を強打して骨折および靭帯損傷を負った。	25	1	413	10～ 29
44	2020	6	8 ～ 9	構内で、一斗缶に入った廃油を捨てる際、蓋を開けようとして、一斗缶の口に右手親指が触れ切傷を負った。	48	8	521	300 ～ 499
45	2020	7	14 ～ 15	工場で、ケーキのカット作業中にスライサーの刃を交換する際、ラックに設置しようとしたとき、スライサーの刃に触れ、左中指伸筋腱断裂を負った。	50	8	165	10～ 29
46	2020	7	16 ～ 17	工場にて粉碎機で7～10kgのパン粉の入った袋を持ち、階段を上り下りしていた。持病のある膝をかばい、膝を曲げず、上体を傾けて袋を持ち上げた際に急性腰痛症を発症した。	18	19	611	50～ 99
			8	出勤時、更衣室から工場玄関に向かっていたところ、雨で濡れて				1000

47	2020	7	～ 9	いた路面で足を滑らせて転倒し、右膝に負担が掛かり、右膝蓋骨を折った。	63	2	417	～ 9999
48	2020	7	～ 14	13 冷凍庫内で成型した生地のリックを運搬中、所定の格納場所へ引 いていたとき、左後方にあったリックに左肘が接触した弾みで、 14 左手首に負担が掛かり、左橈骨遠位端を骨折した。	62	3	362	30～ 49
49	2020	7	～ 12	11 工場で、羊羹ライン大掃除のため、脚立に上り天井の拭き上げ掃 除中、脚立から下りる際、バランスを崩し落下した。その際、仕 込み場へ右手をつき、床に臀部を打ち、右足関節の開放骨折、腰 12 骨にひびが入った。	38	1	371	50～ 99
50	2020	7	～ 17	16 搬送ラインで、エアーホースが抜けていたのを復旧する際、機械 を停止せずに行ったため、可動シリンダーに左肘が接触して打 17 撲・挫創を負った。	42	6	165	100 ～ 299
51	2020	7	～ 19	18 台車に番重を積み、工場内の通路を移動していた際、番重の角が 通路横に当たって崩れ、はずみで足を滑らせて転倒して腰部を打 19 撲した。	32	2	611	300 ～ 499
52	2020	7	～ 15	14 工場内で、製造工程切替時の機器洗浄他の整理、準備作業を行っ ているとき、別の職員が床清掃をしており、バケツに入った熱湯 を床に流す方向と、被災者が動こうとした方向が一致し、熱湯が 15 右足甲の半分から踝、踵、足首にかかり火傷を負った。	45	11	715	100 ～ 299
53	2020	8	～ 5	4 キャンディーの箱詰めおよび袋を包装機へ供給する作業中に、小 走りで作業場所を移動した際、足を滑らせて右膝を床に打ち付 5 け、骨折した。	62	2	417	100 ～ 299
54	2020	8	～ 15	14 工場で充填機（商品を結束し、切断する機械）を使用中、安定的 に製品が下に落ちるように、上下運動する結束部分の端に段ボー ルを縦に置いた。終了間際に本来は、機械を停止させ段ボールを 15 除却すべきであったが、稼働状態で段ボール上部を右手で掴み、 除却したところ、結束部分が下に落ちてきた。その際、段ボール 上部と結束部分に挟まれ、右示指・中指に挫傷を負った。	56	7	165	10～ 29

55	2020	8	13 ～ 14	工場内パレット置き場で空いたパレットを片付けていたとき、パレットが高く積み重なっており、それ以上高く重ねることができず、斜めに立て掛けて立ち去ろうとしたところ、立てたパレットがバランスを崩して倒れ、後方から右足首裏付近に直撃した。その際、右足を打撲した。	76	5	379	100 ～ 299
56	2020	8	18 ～ 19	洋菓子の作業場にて、後方で仕込み後のコーヒーゼリーをバットに積んで冷蔵庫まで運搬していた別の作業者が、途中でバットが前にずれたため、台車の向きを前後で入れ替えようとした。その際、バットが前方に倒れ、近くにいた被災者の足にゼリーが掛かり、両足首に熱傷を負った。	19	5	611	1000 ～ 9999
57	2020	8	12 ～ 13	店舗レジで、食パンをスライスするため電動スライサーを使用していた。スライサーの刃にパンの切れ端が残っていたため、スライサーの電源を切り、ゴム手袋をしている右手で取り除こうとしたところ、右手中指に刃が触れて切創を負った。	21	8	165	10～ 29
58	2020	8	13 ～ 14	工場で、食材準備中、シンクの台に食材があり、段差（15cm）を移動した際、踏み外し転倒した。その際、左半身を打ち、左胸部を打撲した。	67	2	418	50～ 99
59	2020	8	9 ～ 10	店舗厨房で、業務用ミキサーからパン生地を取り出す際、ミキサーが止まり切っていなかったため、ボールとミキサーに挟まれ、右肘下5cm部分に切傷を負い、骨折した。	26	7	165	10～ 29
60	2020	8	16 ～ 17	工場内の蒸気釜付近で、レボルパンの清掃作業中、柄杓（直径約15cm）を使って蒸気釜から熱湯をバケツに取り移動するとき、右手に柄杓、左手にバケツを持って方向転換した。その際、柄杓に残っていた熱湯が右足に掛かり、更に靴の内部にも入ってしまい、右足甲に熱傷を負った。	32	11	713	1～9
61	2020	8	19 ～	生産終了後、箱詰め場の高所壁面の拭き上げ清掃中、壁面横のシートシャッターが第三者によって開けられた。その際、シート	24	7	391	100 ～



			20	シャッターのモーター駆動部に被災者の作業服が巻き込まれ、左前腕に挫創を負った。					299
62	2020	8	22 ～ 23	前日一次加工の室温が低い職場から、当日真空フライ二次加工でのピッキングで、環境の違いのため熱中症となった。	46	11	715	100 ～ 299	
63	2020	9	17 ～ 18	包装室でコンベアのローラーを清掃中に、持っていたタオルがローラーの下に付いている駆動ベルトに巻き込まれて、引き抜こうとしたが自分の右手も巻き込まれて、右手（親指以外）に打撲を負った。	26	7	121	100 ～ 299	
64	2020	9	16 ～ 17	工場仕込み室で、洗浄したまんじゅう焼成機のアんこ充填部分を移動台車に戻そうとしたところ、左手が滑ってバランスを崩し、あんこ充填機と台車のフレームの間に右手を挟み右手中指、薬指に裂傷を負った。	32	3	362	100 ～ 299	
65	2020	9	10 ～ 11	第一工場のミニライン横に置いてあった台車を片付けていたとき、左足が台車につまずいて左脇腹から床に転倒し、同時に左前頭部を強打し、肋骨にヒビが入り、頭部皮下血腫を負った。	65	2	362	100 ～ 299	
66	2020	9	8 ～ 9	原材料が入った容器（一缶）が平積みに載せられた台車（複数台）が並べられた原料室で、原材料の計量を行うため、奥の方にある原材料の入った容器を取り出す作業を行っていた。そのとき、手前にある車を足の踏み場を作るために移動させず、同台車に両足を乗せたところ、不意に同台車が動いたため、体勢を崩して転倒した。その際、他の台車に、右半身全体を強打し、右肋骨骨折および右耳に創傷を負った。	63	2	362	100 ～ 299	
67	2020	9	2 ～ 3	休憩を終え、休憩室のソファから立ち上がったとき、床が少し濡れていたため、足を滑らせて転倒し、肋骨を折った。	57	2	417	50～ 99	
			16	工場では、ベルトのローラーを拭く作業中、ウエスがローラーに巻き込まれたため、取り除こうとしたが引っ張られ、右手がコンベ				100	

68	2020	9	～ 17	アベルトとローラーの間に挟まれ、右腕がカバーに当たり、右示指を脱臼骨折した。	59	7	163	～ 299
69	2020	9	～ 15	菓子工場内のケーキ製造ラインで、トンネルオープン出口のケーキ搬送装置上部に上り、吸気口のフィルターの交換後、下りる際に足を踏み外し落下して転倒し、右膝下に裂傷を負った。	58	1	165	100 ～ 299
70	2020	9	～ 1	チタンシート削り場で、シート（約45×60cm）の束をラックに入れた際、シートが右手に引っ掛かり、手の平・人差し指中節に切創を負った。	55	8	521	100 ～ 299
71	2020	9	～ 14	材料を台車に載せる際、右足膝に痛みを感じ、副靭帯損傷を負った。	69	19	921	300 ～ 499
72	2020	10	5 ～ 6	店のプラットホームの上から、下に立て掛けられている台車を取ろうと、対面にある柱に手をつけて体を支えながら、しゃがんで手を伸ばした際、バランスを崩して台車の上に転落し、右背中を強打して骨折した。	48	1	419	1000 ～ 9999
73	2020	10	21 ～ 22	共配センターの納品場所で荷降ろしするとき、商品が入っている番重を引っ張り出そうとした際、右足がトラックのステップから滑り落ち、荷台右側の扉の取っ手部分に胸を強打し、肋骨にヒビが入った。	50	1	221	50～ 99
74	2020	10	～ 15	番重2枚を最上段に積んだ際、バランスを崩して転倒した。その際、後方にあった台車に左足を乗せて、滑って尻もちをつき、右手をつけて手首を骨折した。	65	2	362	100 ～ 299
75	2020	10	～ 15	天板を積んだ台車を所定の位置まで動かしていたとき、所定の位置に近付いたため、旋回して止まろうと思ったが、スピードがついていたため、遠心力に負けて台車ごと転倒した。その際、台車に右足をぶつけ、打撲した。	57	2	362	300 ～ 499
			19					

76	2020	10	～ 20	工場内を移動中、床にある配管の突起物につまずいて転倒し、左胸から肩を強打し、左上腕を骨折した。	66	2	417	30～ 49
77	2020	10	～ 12	11 工場で、木製の空箱を移動中、床に置いてあったコードリールに 12 気付かず、右足をぶつけ転倒した。その際、右足親指を骨折し、 右肋骨に打撲を負った。	42	2	417	1～9
78	2020	10	～ 7	6 2階事務所から3階更衣室に移動する際、階段で左足を踏み外して 前に倒れ、階段の角で左脛を打撲して裂傷を負った。	55	2	413	100 ～ 299
79	2020	10	～ 17	16 工場で、栗缶（10～11kg）を3段に重ねて積んで運んでいた際、 17 栗缶がずれて右足の上に落下し中指を亀裂骨折した。	47	4	611	50～ 99
80	2020	10	～ 9	8 パンの搬出準備で、出入口の扉を開けた際、つまずいて転倒し、 左大腿骨を折った。	73	2	417	50～ 99
81	2020	11	～ 14	13 出荷場の荷物搬入口でカゴ台車を移動させようとした際、車輪の 14 ストッパーの金具に足を引っ掛けてつまずいて転倒し、右手をカ ゴ台車に挟み、骨折した。	61	7	362	50～ 99
82	2020	11	～ 14	13 フィナンシェに使用する茶葉をミキサーで粉碎する作業開始時 に、ミキサーの蓋部分を作業テーブル下に落下させた。その蓋を 14 探すために作業テーブルの上に上がったところ、バランスを崩し てテーブルから落下し、左足小指を骨折した。	47	1	419	30～ 49
83	2020	11	～ 9	8 事業所で、事務所エリアから工場への移動中、3階階段前の通路で 9 右足を滑らせ、右側に転倒したとき、階段下（3段下）に落下し、 床に激突した右肩を骨折した。	48	1	413	300 ～ 499
84	2020	11	～ 18	17 工場内の下駄箱のある部屋で、ドアを体で支えながら靴を脱いだ とき、ドアが閉まって右手小指を挟み、打撲した。	20	7	419	100 ～ 299



93	2020	12	9 ～ 10	1F計量室でブラウニーペーストを作っているとき、移動しながらオリコンドローリーにつまずき、転倒して床に右膝を強打し、関節後十字靭帯損傷、関節内血腫を負った。	64	2	416	50～ 99
94	2020	12	8 ～ 9	巻機の生地詰まりを直した後、再起動するためにカッター部の安全カバーを掛けようとしたとき、突然カッターが動き出し、左手親指の神経と靭帯が断裂した。	55	8	165	100 ～ 299
95	2020	12	13 ～ 14	ゼリーの包装作業中、包装フィルムの柄合わせなどの調整を行っていたとき、カッターの手前でフィルムが詰まった。本来は機械を停止してから除去するべきところを、機械が作動したまま右手を入れ、回転中のカッターに中指を挟んで切断した。	50	7	169	50～ 99
96	2020	12	13 ～ 14	工場内で、冷凍パン製造機のローラーに手を挟み、右手中指、薬指、小指に創傷を負った。	61	7	165	10～ 29
97	2020	12	16 ～ 17	工場内で材料を補充していた際、材料粉装（小麦粉）を持ち上げたところ、足が滑りそうになり、踏ん張ったときに腰に痛みが生じて、急性腰痛症を負った。	22	19	921	100 ～ 299
98	2020	12	16 ～ 17	湯を使用し天板洗浄機を洗浄中、ホースを持ち帰る際、湯を右手にかけ火傷を負った。	49	11	379	500 ～ 999
99	2020	12	2 ～ 3	両手で原料を持ち、資材からの通路（若干傾斜あり）を作業場方向へ移動し始めたところ、勢いよく滑って転倒し、左肋骨を折った。	59	2	417	100 ～ 299
100	2020	12	11 ～ 12	工場内で、団子用生地を製造中、左手を投入口に入れて、攪拌用の羽根部分に触れ、左手橈骨と尺骨に開放骨折を負った。	47	7	165	10～ 29

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害事例\(最大99事例まで\) \(2020年\) に戻る。](#)